

授業科目名 <英訳>		医療社会学・基礎 Medical Sociology				担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 岩隈 美穂			
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2018・ 前期集中	曜時限	前期後半 火5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
<p>コースの概要</p> <p>医療社会学とは「健康・病気と保健・医療に関わる世界の問題を、行動や生活、家族や集団、地域や社会、文化などに関する社会学の理論と方法を用いて解明する学問分野」崎喜比古（編）、2001、「健康と医療の社会学」まえがき より）</p> <p>このクラスの射程として、社会学はもちろんだが人類学、コミュニケーション学、歴史、哲学、倫理学なども含む予定で、「人文学・社会科学」から医学を考える。</p>											
【到達目標】											
<p>学習到達目標（このコース終了時までには習得が期待できること）</p> <p>医療社会学とは何か、を説明できる。</p> <p>医療社会学の概念、理論、方法論を理解する。</p> <p>自分の興味のある研究テーマにひきつけて医療社会学を考えることができる。</p> <p>「人文学・社会科学」からの医療・医学への視点や語彙を提供し、履修者たちの描く「理想の医療」への改革へのヒントにすることができる。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>1) 6/5 イントロダクション</p> <p>2) 6/12 医療社会学の基礎</p> <p>3) 6/19 病と疾病ほか</p> <p>4) 6/26 病人役割・スティグマ・その他</p> <p>5) 7/3 IPE IPW （酒井郁子氏 千葉大）</p> <p>6) 7/10 人文・社会科学的医学とは</p> <p>7) 7/17 予備日</p> <p>8) 7/24 発達障害とニューロダイバーシティ（美馬達哉氏 立命館大学）</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>出席 25%</p> <p>授業参加度 25%</p> <p>レポート 50%</p> <p>タイトル 15% + 最終版 35%</p>											
【教科書】											
ハンドアウトを配布する											
----- 医療社会学・基礎(2)へ続く -----											

医療社会学・基礎(2)

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習(予習・復習)等]

各自の興味関心に関連した医療社会学のリーディングを読むことを薦める

(その他(オフィスアワー等))

「授業参加・貢献」を重視しているため、自発的発言を求める。  
医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。  
障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮(Accommodation)が必要な場合、早めに相談に来ること。  
講師の都合によって、日程が変わることもある。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 10名まで可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。